

日本とフィリピンにおける若者の雷経験・雷理解  
— 災害文化としての雷 —

伊藤 孝\*・伊藤 開\*\*

（2018年8月31日受理）

Experiences and Understanding of Thunder and Lightning on Younger  
Generations in Japan and Philippine: Thunder and Lightning as Natural  
Disaster Culture

Takashi Iro\* and Kai Iro\*\*

(Accepted August 31, 2018)

はじめに

21世紀の今日、雷を自然災害として捉えた場合、それほど大きな脅威とは言えないかもしれない。過去10年間（2007～2016年）の本邦政府統計（e-Stat）に基づく、日本における落雷による死亡者数は年平均2.8名であり、2012年の9名を除くとすべて年4名以下に留まっている。この数字は自然災害を原因とする死亡事故全体の0.2%以下である。今回比較検討したフィリピンでも同様に少なく、年間で死者13名（2013年）、5名（2014年）と、自然災害を原因とする死亡事故の2%にみえない（Philippine Statistics Authority, 2015）。また、フィリピン・ヴィサヤ地域在住の若者を対象とした聴き取り調査においても、雷は「恐ろしい自然災害」として認識されていない（伊藤, 2017, 2018）。

一方、日本において、雷は伝統的に怖いものの代表「地震、雷、火事、親父」の一つとして挙げられ、かつ子どもの頃、雷が鳴ると親からへそを隠せと言われた経験をもつ者も多いだろう。日本における故事・俗信・諺を包括的に調査した吉本・南（2004）によれば、雷に関する故事・俗信・諺の数は、地震に関して述べたその倍に達するという。フィリピン・ヴィサヤ地域では、雷が鳴り始めると家のなかの鏡を隠す（Olofson, 2002）など、雷に対する古い習慣も残っている。このように雷は災害文化として捉えると興味深く、現時点で整理し、記録として残すことは有意義であろう。本研究では、日本とフィリピンの両国を対象として、若者が子どもの頃からどのように雷

---

\*茨城大学教育学部地球科学研究室（〒310-8512 水戸市文京2-1-1；Geosciences Laboratory, College of Education, Ibaraki University, Mito 310-8512 Japan）.

\*\*つくば市立桜中学校（〒305-0019 茨城県つくば市さくらの森32；Sakura Junior High School, Tsukuba 305-0019, Japan）.

と付き合ってきたか、また現在どのように対処しているか、という点を明らかにすることを目的とした。

### 調査方法・内容

以下に示すように、日本とフィリピンで調査方法・内容は大きく異なっている。

#### (1) 日本

I大学において、2017年度開講の大学一年生向け一授業、大学二年生向け二授業にて、質問紙形式によるアンケート調査を実施した。回収されたアンケート用紙の合計は253である。回答者の生年は1994年2名、1995年3名、1996年12名、1997年119名、1998年97名、1999年17名、未回答3名と、平成10年前後にあたる1997年～1999年生まれが全体の93%を占める。出身地は65.2%（165名）が茨城県であり、次いで千葉県が6.7%（17名）、福島県が5.9%（15名）、栃木県が4.3%（11名）と、茨城とその隣接県で82.2%である。性別は男性111名、女性140名、性別未回答2名である。なお、本研究では、年齢、出身、性別等を区別せず、全体を通した概要のみを議論することとする。

質問内容は、「出身都道府県（複数ある場合は、これまで最も長く暮らしたところ）」、「生年（西暦）」、「性別」に加え、以下の二点とし、回答者が選択肢のなかから選ぶ形式とした。質問②の選択肢のなかには、フィリピンとの比較のため、日本では馴染みのないと思われるもの（「3. 鏡を隠す」、「11. 歯を出さないよう気をつける」、「13. 動物から距離を置く」）も設けておいた。

①日本ではよく「雷様が人のへそを取る」という言い方をしますが、この話はいつ頃知ったと記憶していますか？（選択形式）

1. 小学校3年生以下
2. 小学校4～6年生
3. 中学校
4. 高校以上
5. 記憶にない
6. 「雷様が人のへそを取る」ということを聞いたことがない

②非常に強い雷が近づいているとき、皆さん自身ができることを選んでください（複数回答可）。

1. 木の下に隠れる
2. 金属を隠す
3. 鏡を隠す
4. テレビの電源を切る（コンセントは抜かない）
5. テレビの電源を切る（コンセントも抜く）
6. 料理等、刃物を使うのを控える
7. 建物のなかに入る
8. スマートフォンの電源を切る
9. 電柱から距離を置く
10. 傘を閉じる
11. 歯を出さないよう気をつける

- 12. へそを隠す
- 13. 動物から距離を置く
- 14. その他

## (2) フィリピン・ヴィサヤ地域

フィリピン・ヴィサヤ地域在住者を対象とした聴き取り調査は、インターネットを介したオンライン対面通話形式（伊藤，2017，2018）で、一対一で筆頭筆者が行った。調査期間は2016年9月～2018年8月の約2年、聴き取り対象者は民間のオンライン英会話会社に講師として勤務する、セブ市および近接地域在住の20代女性129名である。質問は以下の11項目であり、口答で質問し、その場で回答を得た。ただ、各種制約により、129名全員に対し以下の11問すべて質問できたわけではなく、質問ごとに回答数は大きく異なる。パートタイムとして働く講師が多く、かつ雇用の流動性が高いので、一通り質問を終了する前に職を離れ、結果、聴き取りが不可能になるというのが大きな要因の一つである（伊藤，2017）。また、質問者側の知識・経験等の不足により、始めからすべての質問を準備できなかったことも大きい。実際には、雷についていろいろと雑談を繰り返しているうちに、新たな視点に気づき、その点について他の講師に確認する、ということの積み重ねとなった。なお、今回、極まれにはではあるが、回答に齟齬が生じることがあった（例えば、資料#9：2015/10/31と2016/3/13，#19：2015/11/23と2017/6/7）。その際には、聴き取り日の新しい回答を採用した。

11個の質問のうち、質問①～③は子どもの頃の経験、質問④～⑪は現在の理解・状況に関する問いである。質問④では、本人ではなく、親がどう行動しているかについて尋ねている。また、質問①以外は、激しい雷が近づいているとき、という状況が前提である。

- ① 子どもの頃、雷雨が上がったあと、白い石を探しにいったことはありますか？
- ② 子どもの頃、笑うな（歯を見せるな）と言われたことはありますか？
- ③ 子どもの頃、猫（その他の動物）と遊んではいけない、と言われたことがありますか？
- ④ 家のなかの鏡を布で覆いますか？（親の世代）
- ⑤ 家のなかの鏡を布で覆いますか？（本人）
- ⑥ テレビの画面を布で覆いますか？
- ⑦ 携帯電話・スマートフォンの電源を切りますか？
- ⑧ 傘を差して出歩くことは危険と考えますか？
- ⑨ 木の下に避難することは危険と考えますか？
- ⑩ テレビを消しますか？
- ⑪ テレビを消し、さらに電源のコンセント、もしくはアンテナケーブルを外しますか？

## 調査結果

### (1) 日本

質問①に対しては252名、質問②に対しては251名から回答があった。質問②の回答数は最大

が6, 最小は0, 平均1.9であった。今回の調査結果で、「雷様が人のへそを取る」という言い伝えを知らない若者は252名中5名(2%)に留まり, ほとんどすべての人(98%)は聞いたことがある, という回答であった(図1)。また, それを知ったのは, 小学校3年生以下のとき, と本人たちが記憶していることがわかった。以上, 平成10年前後に生まれた若者の世代にとっても, この伝承がとても身近なものであることが明らかとなった。

非常に強い雷が近づいた際の行動については図2にまとめた。「7. 建物のなかに入る」192名, 「9. 電柱から距離を置く」67名, 「10. 傘を閉じる」53名, 「5. テレビの電源を切る(コンセント抜く)」46名, 「4. テレビの電源を切る(コンセント抜かない)」32名, が上位5つの回答であった。コンセントを抜く・抜かないを含め「テレビの電源を切る」は78名(31.1%)である。「1. 木の下に隠れる」は7名(2.8%)いた。「14. その他」は14名いたが, そのうち11名(4.4%)は「何もしない」という回答であった。

フィリピンの若者の一定程度が, 子どもの頃に身につけている「3. 鏡を隠す」は0名(0.0%), また, 「11. 歯を出さないよう気をつける」と「13. 動物から距離を置く」は, いずれも1名(0.4%)であった。

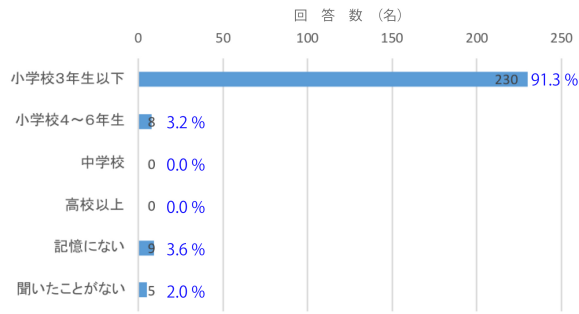


図1 日本人大学生への質問①(「雷様がへそを取る」をいつ知ったか)に対する回答数, および全回答数に対する割合

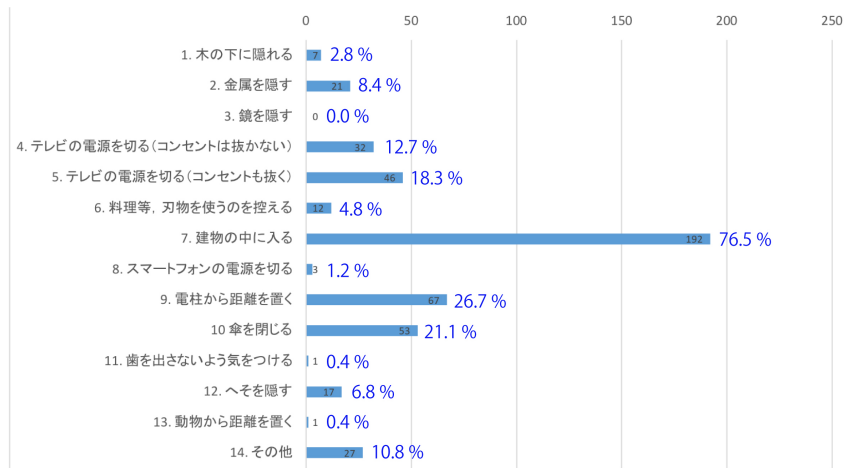


図2 日本人大学生の雷に対する現在の対応(質問②; 複数回答)

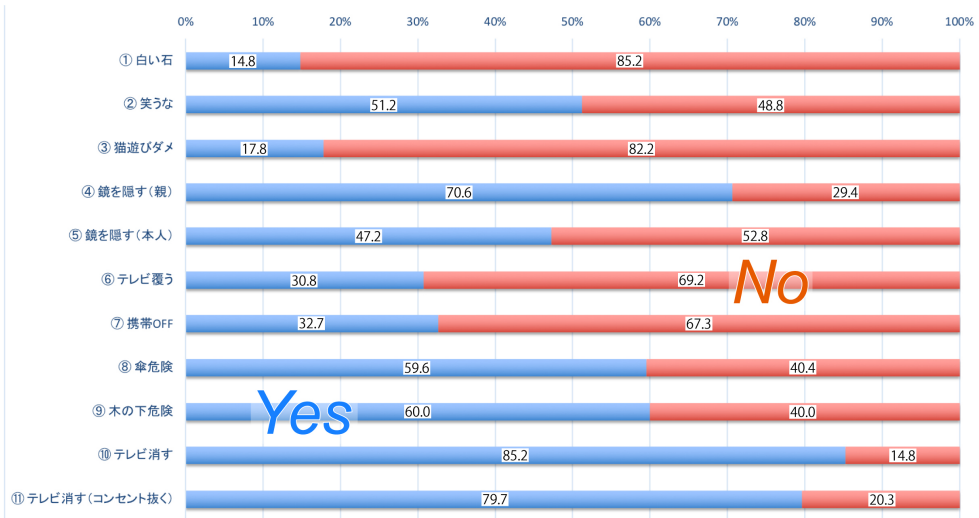


図3 フィリピン・ヴィサヤ地域在住の若者の回答のまとめ

表1 フィリピン・ヴィサヤ地域在住の若者の回答のまとめ

	回答数合計	はい(人)	(%)	いいえ(人)	(%)
① 雷雨のあと、白い石を探した経験	108	16	15	92	85
② 笑うな(歯を見せるな)と注意された	125	64	51	61	49
③ 猫と遊んではいけない、と言われた	118	21	18	97	82
④ 雷が近づくと、鏡を隠す(親の世代)	109	77	71	32	29
⑤ 雷が近づくと、鏡を隠す(本人)	127	60	47	67	53
⑥ 雷が近づくと、テレビを布で覆う	117	36	31	81	69
⑦ 雷が近づいた際、携帯電話の電源を切る	98	32	33	66	67
⑧ 雷が近づいた際、傘の使用は危険と感じる	47	28	60	19	40
⑨ 雷が近づいた際、木の下への避難は危険	40	24	60	16	40
⑩ 雷時、テレビ消す	122	104	85	18	15
⑪ 雷時、テレビ消す(コンセント抜く)	118	94	80	24	20

## (2) フィリピン・ヴィサヤ地域

フィリピン・ヴィサヤ地域在住の若者に対する聴き取り結果のまとめは図3と表1に、また聴き取り対象者個々の回答の概要は本論文の最後に資料として示す。

### 1) 質問①～③：子どもの頃の雷との関わりについて

まず、子どもの頃の経験についてであるが、雷雨が上がったあと白い石を探した経験がある者は15%、また雷が近づいたとき猫と遊ぶな・猫に触れるな、と注意をされた経験をもつ者は18%に留まった。一方、笑うな・歯を見せるな、と注意された経験を有する者は多く、約半数に登る。

雷雨のあとに白い石を探す理由を尋ねたところ、知らない者・忘れてしまっていた者もいたが、何人かはその理由を記憶していた。曰く、「白い石は雷の歯であり、この歯を手にする事で驚異的な力を手に行うことができる」というものであった。また、これは古くからの教えというよりは

むしろ、子ども時代のテレビ番組の影響という証言もあった。

雷が近づいた際、笑ったり歯を見せてはいけない理由は、「歯が雷を呼び込むから」と説明されていた者が大半である。次に述べる鏡と同様、「光るもの、光を反射するもの」が雷を呼び込むという発想のようだ。これは親に言われたり、友達同士で注意し合った者に加え、学校の授業中、教師が騒ぐ児童を静かにする手段としても使われたようだ（資料#2：2015/11/11）。

猫や他の動物に触れてはいけない理由を説明してくれた人は極少数であった。曰く、異物に触れることでそこに雷が落ちる、というものであった。Web上では雷によるペットの異常行動の事例とその対応策が多数報告されている（たとえば、<https://www.green-dog.com/>）。この習慣が、雷に起因する動物の異常行動による子どものケガを防ぐことに起源をもつ、ということも考えられるが、想像の域を出ない。

#### 2) 質問④⑤：鏡の扱いについて

雷が近づいた際、家のなかの鏡を隠すという習慣（Olofson, 2002）は、ここでも確認された。鏡を隠す理由は、上で示した歯を隠すことと同様、鏡が雷を呼び込むという理解である。この実行者は聴き取り対象者の親の世代では70%を超えるが、聴き取り対象者では47%であり、この習慣は世代を経て著しく廃れている可能性がある。

#### 3) 質問⑦：携帯電話・スマートフォンの扱いについて

雷が近づいた際、33%の人が携帯電話やスマートフォンの電源を切って、カバン等に入れると回答している。これらの器機が本格的に普及したのが21世紀になってからなので、新しい行動様式であることは間違いない。多くの人が、携帯電話で通話中の人を雷が直撃したという事例を挙げ、その二の舞を避けたいということのようだ。Roeder et al. (2012)によると、この携帯電話に雷が落ちやすいという迷信は米国でも広く知られているらしい。また、Elsom and Webb (2014)によると、携帯電話の使用中に、万が一落雷した場合、人体へのダメージが大きくなる可能性があるという。

#### 4) 質問⑧：傘の扱いについて

外出中、雷が近づいた際、傘を使うかどうかを尋ねた結果、60%の人が傘の使用を躊躇するということであった。そのため、雨が降り、雷が鳴り始めた場合でも「傘を閉じ、濡れて帰る（資料#80：2017/12/7）」という行動を取る人がいることもわかった。特に、傘の石突きの材質には強いこだわりが見られ、「石突きが金属の傘を購入した場合は、ビニールテープでぐるぐる巻きにする（資料#93：2017/1/11, #140：2017/4/17）」、「石突きがプラスチックの傘のみ購入する（資料#47, 2017/6/12）」という証言があった。雷が鳴り始めたとき、室内の場合には鏡にこだわりがある一方、野外では先端が尖った金属であり、かつ傘を差した状態では相対的に高い位置にある、傘の石突きを特に危険と感じている可能性がある。

#### 5) 質問⑨：木の下への避難について

雷が近づいている際、木のそばに隠れることが危険と考える人が60%となった。高い木から距離を置くことは、落雷した木からの側撃雷を防ぐ（日本大気電気学会, 2001）という点で、避難行動として、理にかなっている。

#### 6) 質問⑩⑪：テレビの扱いについて

雷が近づいている際、テレビを消すが85%、テレビを消しコンセントを抜くが80%となった。

また、テレビの画面を布で覆うは31%に達した。電化製品の電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜くことは、雷の高電圧が室内に入ってくることを防ぐ(日本大気電気学会, 2001)ことから、電化製品の被害を減らし、かつ感電事故を防ぐ、安全面からも理にかなった行動と思われる。テレビの画面を布で覆う理由は、先の歯や鏡をかくすと同様である。

また、落雷もしくは大雨の日にテレビが壊れた経験を持っている人が6名に及んだ(資料#14: 2015/11/8, #80: 2016/4/18, #94: 2016/8/7, #124: 2017/1/9, #131: 2017/2/23, #145: 2017/8/5)。これら自ら落雷被害を経験している人は、#145の講師を除き、皆現在、雷時にテレビの電源を落とし、コンセントを抜いている。

#### 7) 小数事例について

雷についてのやり取りのなかで、日本と異なる習慣を持つことがわかってきた。それらのいくつかを他の講師にも尋ねてみたが、同様の行動を実践している人は限られており、多くが極小数の例に留まった。これらの点から、いずれも地域的にかなり限られた習慣であると思われる。そのいくつかを、以下に紹介しておく。

- ・雷の翌日、家族が裏山へキノコを探しに行く。
- ・雷時、水(池や湖)のそばに立ってはいけぬ。
- ・雷時、包丁を使って料理をしてはいけぬ。
- ・猫を洗ってはいけぬ。雷が発生するから。
- ・Tuko(中型のトカゲ)から離れなければいけぬ。雷が発生するから。
- ・雷が鳴り始めたら、祭壇のロウソクをつけ、お祈りをする。
- ・黒い雲が出てきたら、指で作ったハサミ(チョキ、以下、本論文では「指ハサミ」と呼称する)で雲に向かって切るしぐさをする。
- ・稲光が出てきたら、指ハサミで雲に向かって切るしぐさをする。

## 考 察

### (1) 雷に関する言い伝えについて

雷に関する土着的な言い伝え・習慣に関して、両国には全く共通項が見られないようである。日本では、本研究でも明らかなように「へそを隠す」は、実際にそのように振る舞うかどうかは別として、皆知るところである。一方、フィリピン・ヴィサヤ地域では雷が落ちやすいとされる、鏡、歯は日本では無警戒であるし、猫と遊ぶこと・猫に触れることと落雷の関係は格言等含め皆無であろう。フィリピン人と日本人が濃厚に接触しはじめたのは、朱印船貿易による日本人町の形成以降であり、最盛期、ルソンには3000人の日本人が居住していたらしい(羽田, 2007)。第二次大戦時には占領という歴史もあるが、雷に関する理解・習慣としては、文化的な交流は顕著ではなかったものと思われる。

### (2) 電化製品の扱いについて

雷が近づいてきた際、電化製品の電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜くことは、雷の高電圧が室内に入ってくることを防ぐ行動(日本大気電気学会, 2001)とされている。これにより、落雷による電化製品の被害を減らし、かつ感電事故を防ぐ、経済面・安全面からも理にかなった行

動と言えよう。今回の調査に基づき、テレビの扱いについて注目すると、両国の対応は大きく異なる。雷が近づいてきた際、「テレビの電源を切り、コンセントを抜く」は日本では18%、フィリピンでは80%と大きな差がある。フィリピンの方がこの点強調され指導を受けている、日本の方が避雷針・器や耐雷トランスの設置等の安全対策が施され安心しきっている、日本では若者のテレビ離れが顕著でそもそもテレビに無関心である等、可能性を挙げられるが、現時点ではその理由は特定できない。

### まとめ

日本においては、平成10年前後に生まれた若者の世代にとっても、「雷様が人のへそを取る」という伝承が非常に身近なものであることが明らかとなった。フィリピン・ヴィサヤ地域では、子どもの頃、雷時に歯を見せるな（口を開くな）と教えられていた人、また現在、雷が近づいた際、室内の鏡を隠す人がそれぞれ約50%に達することがわかった。一方、雷時にテレビを消し、コンセントを抜く人も8割に達し、科学的な根拠に準じた雷に対する行動指針も深く浸透していることがわかる。このテレビを消しコンセントも抜くと答えた94人のうち、部屋のなかにある鏡を隠すと答えた人は54%にも登った。このように、フィリピン・ヴィサヤ地域では、現時点において、土着的な習慣と科学に裏打ちされた安全行動が同居していることが認められた。

### 謝辞

本研究の一部は日本学術振興会学術研究助成基金助成金基盤研究（B）（課題番号17H02008、研究代表者：鈴木寿志）の助成を受けて行われた。記して感謝の意を表する。

### 引用文献

- Elsom, D. M., and Webb, J. D. 2014. Deaths and injuries from lightning in the UK, 1988–2012. *Weather*, 69(8), 221-226.
- 羽田 正. 2007. 興亡の世界史：東インド会社とアジアの海. 390p., 講談社.
- 伊藤 孝. 2017. 自然災害に対する危機意識と実際の行動：フィリピン・ヴィサヤ地域の場合. *地学教育*, 69(4), 199-210.
- 伊藤 孝. 2018. スカイプ英会話を活用した自然災害に対する感覚・防災意識調査の基礎資料：フィリピン・ヴィサヤ地域の場合. 茨城大学教育学部紀要（教育科学）, 67, 669-677.
- 日本大気電気学会. 2001. 雷から身を守るには：安全対策Q&A（改訂版）. 56p.
- Olofson, H. 2002. St. Vincent and the thunder-god: Narratives of play and Apocalypse in relation to a Central Visayan island fiesta. *Philippine Quarterly of Culture and Society*, 30(1/2), 172-229.
- Philippine Statistics Authority. 2015. 2015 Philippine Statistical Yearbook.
- Roeder, W. P., Holle, R. L., Cooper, M. A., and Hodanish, S. 2012. Lessons learned in communicating lightning safety effectively. In 4th international lightning meteorology conference, Broomfield, CO, Vaisala.



吉本文夫・南 哲. 2004. 「故事・俗信及び諺」にみる「防災の安全観」に関する一考察. 安全教育学研究, 4 (1), 3-27.

### 資料：雷に関する聴き取りメモ (抜粋)

本聴き取り調査の根拠資料として、聴き取り概要のメモを以下に示す。聴き取り対象となった講師の別は「#数字」の整理番号として示す。なお、#2～#55は伊藤（2018）のそれと対応している。

#### #2

2015/11/11：雷が鳴ると、家族全員で鏡を隠す。彼女は今も継続中。雷時、テレビの電源を消し、コンセントを抜き、布で隠す。子どもの頃、雷が近づくと、笑っちゃだめと強く言われた。自宅でも学校でも。そのため、教室がとてとても静かになったとのこと。また、曇ってきたら猫にさわっちゃだめとも言われた。人と動物、違ったものどうしが触れ合うことで雷を呼ぶ、との考えらしい。先週、実家に戻った際、妹が海岸で雌牛の頭を撫でていたら、「Lightningが来るから触っちゃだめ」と言われたという。また、赤ちゃんが泣くと、「雷が来るから静かにして」という言い方もあるとのこと。雷には菌があり、噛まれるから家のなかに入れ、という言い方もされるという。雷の菌を探せば力が宿る、という点は知らなかった。

2016/4/12：雷時、携帯電話は気にせず。全ての電化製品の電源を落とし、家の主電源を切る。

2018/2/26：雷のときに鏡を隠す、は実際に今でもやっている。大きな木の脇に隠れるのは危険であることを知らなかった。赤い服は雷を呼ぶと言うのは聞いたことがあるかもしれない。よく言われたのは、雷が近づいているとき（雨が降ってない時でも）洗濯物を干したままにするのは非常に危険とのこと。雷が遠くで鳴り出したらすぐ取り込む。

#### #3

2015/11/18：子どもの頃、母以外の人が面倒を見に来てくれていた。その人は雷が鳴ると、鏡とテレビを布で覆ったとのこと。彼女自身はどちらもやっていない。また、母方の祖母（Lapu-Lapu在住）は、雷が鳴ると、口を開けるなどといったという。雷が落ちるから。雷や台風など空に関する災害は、空にいる神様が怒っているから、という言い伝えがある。Thunderの音の起源は、神様が家具を動かしているからという話を聞いたことがある。雷と猫、雷の菌、太鼓、ゼウスについては知らず。

#### #5

2015/10/25：Thunderとlightningを明確に分けて理解している。タガログ語やヴィサヤ語でも同様。前者をDugdog、後者をKilatと呼ぶ。雷が鳴ると鏡を隠す、テレビを消す、傘の石突きが金属製のときは隠す。雷は大男が石を投げるといふ言い伝えに加え、神様が怒っている、という言い伝えもあるらしい。雷が鳴ったら、猫（犬も）と遊んではいけない、という言い伝えがあり、遊び

続けていると親に注意された。また、猫と遊んでいるところに雷が落ちると、猫と人間の顔が入れ替わる。

2015/10/29：祖母と暮らしたことがないので、祖母が鏡を隠すかどうか分からない。雷が落ちて猫と顔が入れ替わることをPalipakanというらしい。雲で空が真っ黒になってきたときには、祖母たちは指ハサミでそれらを切るしぐさをする。悪天候を切る、の意。

2015/11/13：雷が鳴ったらテレビの電源を消し、コンセントを抜き、タオルを掛ける。これは科学的な根拠に基づいている。雷の菌の話は知っている。祖母によると、大雨のあと、木にできる白いキノコは雷の菌。雷の原因は、巨人の石投げというよりは、神様が怒っているというイメージ。また、子どもが騒ぐと、静かにしろ！と言いくるめるときに引き合いに出される。稲光の原因はゼウスと知識では知っている。

2016/4/15：雷時、携帯電話は特に気にしない。使わず、体から離してバックに入れるだけ。特に雷が近いときには、すべての電化製品の電源を落とし、家の主電源を切る。

#### #7

2018/1/7：雷時、携帯電話の電源は落とさない。鏡を隠し、テレビは消す。子どもの頃、笑ってはいけない、と言われていた。雷のとき、金属はそれほど気にしないが、傘の石突きはプラスチックのものを使いたい、とのこと。

#### #9

2015/10/31：母は雷のとき鏡を隠す。彼女自身は鏡を気にしない。テレビの電源を切り（コンセントは抜かない）、タオルを掛ける。雷が始まったら、静かにしろ、といわれる。猫や犬と遊んでいたら、やめろと言われる。雷が落ちるとクレージーになる、と信じている。

2015/11/7：雷の音が巨人の石投げ、という話は知っている。恐らく小学校のとき、タガログ語で書かれた絵本を読んだとのこと。

2016/3/13：「雷時、鏡を隠す」に関し、今回はYesという返答。雷時、携帯電話は使用しないが、あえて電源は落とさない。冷蔵庫は電源を切らない。コンセントを抜くのはテレビとラジオ。

2017/6/1：雷について再び聞く。以前の回答と一部異なっていた。鏡は自分でも隠す。またテレビのコンセントを抜く。テレビの画面を隠すのはタオル。大雨が降る

と外に出てシャワーがわりにしていた。ただ雷が鳴りだすと、母からすぐ家に入るように言われた。母からは、雷時、木のそばに立つなとよく言われていた。電柱・電線から離れろ、は実践している。ただ開けた場所に立つな、水のそばに近寄るな、は聞いたことがない。包丁を触っていけないは知らない。傘はそれほど気にしていない。猫を洗うのは子どもの頃やっていたが、あまりにも引っかけたので最近洗っていない。猫を洗うことと雷の関係は知らない。

#12

2016/4/8：雷のとき鏡を隠すのは、子どもの頃やっていたが、今はやっていない。それも含め、今は雷に対して、どんな反応も示さない。

#14

2015/11/8：彼女自身は信じていないが、鏡を隠せと母がうるさい。巨大な鏡なので、シーツをかける。子どもの頃、雷時、テレビから黒い煙が出て来た経験ある。テレビを消し、コンセントは抜くが、布では隠さない。それ以外の雷関連の迷信は知らない。ゼウスのシンボルが稲光であることは知っている。

2018/1/17：雷を指ハサミで切ったことはない。雷時、赤色の服・傘が危ないということはない。石突きが金属製の傘を使うのは科学的に危ないことが証明されている。雷の時に祭壇にあるロウソクは灯さない。

#15

2015/11/24：雷が鳴ると、家では祖母と母から「はやく鏡を隠して！」とせつつかれる。また、高校の物理の先生も、雷のとき、鏡、携帯電話、歯を見せるな、と教えてくれた。彼女の場合、テレビの電源を落とすのは、テレビが壊れるのを防ぐため、という理解。

2017/2/2：雷時、携帯電話、パソコンとも気にせず。

2017/6/27：雷時、開けた場所に立つはだめ、水から離れろ、木から離れろ、電柱から離れろ、はいずれも知っている。また現在はガスでご飯を炊いているが雷の時は包丁を使ってはいけないことは知っている。それは、包丁が尖っていることが問題なのではなく金属でできているから。ただし、傘は気にしない。猫を洗ってはいけない、Tukoから離れろ、はいずれも聞いたことがない。

#16

2015/11/22：雷時、鏡とテレビは隠す。ただ、それ以外のことについては全く知らない。祖母に「稲光の目」の話（稲光の歯ではない）は聞いたことがある。

#19

2015/11/23：テレビの電源を消すのは、雷が落ちてテレビが壊れることを恐れてのことではない。テレビにはアンテナがあり、テレビの電源が入っていることで、雷を呼び込む、と考えているから。

2017/1/25：雷時、携帯電話は気にしない。パソコンはたまに消す程度。むしろ、大きい雷のときは、電力会社がその地域を停電にしまうという。

2017/6/7：雷について聞く（以前聞いた際といろいろ異なっている。テレビを消すは共通であるが、テレビのコンセントは抜くと言っていた。また全ての電化製品の

コンセントも抜くとのこと）。開けた場所に立つなは知っている。人体は導電性があるから、と注射してくれた。水のそばに近寄るな、木から離れろ、包丁で料理をするな、傘を使うな、猫を洗うな、はいずれも知らず。台所は窓から遠いので気にしていない。現在使っている傘も石突きがプラスチック製なので気にしていない。家のそばに池があるが気にしていない。

#24

2015/4/13：自然災害のなかでは雷が一番恐ろしい。

2015/4/15：両親が出掛けているとき、雷を経験。彼女が8歳、下の妹が5歳で、その二人だけで家にいるとき、大きな雷が落ち周辺が停電になり、とても怖かったとのこと。

2018/1/18：彼女の場合はほとんど気にしていない。雷時、携帯電話を使うこと、包丁を使うこと、傘を差すこと、赤い服を着ること、すべて問題なし。暗く黒い雲が出てきたときには指ハサミで切らず、部屋用の小さなほうきを持ってきて雲を追っ払っていた。また雷や竜巻を指ハサミで切ったことはない。

2018/2/10：雷について聞く。携帯電話を使うことは問題ない。木の下に隠れることは危険とは思っていない。家に祭壇はあるが、雷の時にその祭壇のロウソクはつけない。

#30

2015/10/28：雷のとき、実家では鏡を隠す。また、金属ではなくガラス製品を隠す。主に父と姉がそのような行動をとる。しかし、彼女自身は全く信じておらずやっていない。テレビの電源は抜く。小学生のとき、歯を見せるな、と家族は言わなかったが、学校では子ども同士で注意しあった。現在は、特に気にしていない。猫遊び、雷の歯は知らず。

2015/11/25：母は、家中のガラスというガラスを覆う。テレビはもちろん。彼女は全く信じていないので手伝わす。

2016/3/14：雷時、スマートフォンの電源は落とさない。

2016/7/7：雷が鳴るとき気にするのはガラスがついている製品（テレビとか）。それ以外の冷蔵庫等は気にしない。家の主電源も切らない。

2018/2/23：指ハサミで雷を切らない。子どもの頃は、雷が鳴ると鏡を隠し、テレビも覆っていた。木の下に隠れるのはよろしくないと言われた。子どもの頃近所で、木に繋いでおいた牛が、落雷で死んだ。傘も使わない。少しでも低い方が安全だからと言う理解。雷時の料理、また赤い服を着ることも問題なし。

#34

2015/11/16：雷が近づいたとき、母は鏡を隠すが、彼女は隠さない（信じていない、という感じ）。ただ、テレビの電源は落とし、雷が激しいときはコンセントも抜く。雷時、歯を見せるな、と言われたことはある。犬を飼っていた時期はあるが、雷のとき遊ぶな、と言われた覚えなし。雷の歯の話は知っており、それを見つければネックレスにするとパワーが得られる。雷の原因は、神様が怒っているため、という話も聞いたことがある程度。

#37

2015/11/4：鏡は隠す、テレビのコンセントを抜く。また雷の菌も知っていた。彼女のおばさんは雷が鳴るといつも「Do noe tiaw cat! (猫をからかうな)」と言っていたらしい。また、雷などの天災がはじまりそうになると、lukay に火をつけて窓から投げ捨てていた。lukay はカトリックに関係した縁起ものであり、ココナツの木を乾燥させたもの。彼女はTabogonに祖母と住んでいたが、台所に実際に雷が落ちたことがある。床が濡れており、光が反射しやすかったため、と理解している。祖母はその場を離れていたため無事だった。

#42

2015/12/19：雷時、すべての電源を落とし、プレーカーを落とす。また、今でも習慣で、雷のとき鏡を布で覆ってしまう。近所に雷が落ちテレビが壊れたことを知っている。開けた平なところにいるときには、たとえ地面が汚れていても、寝そべて雷が落ちるのを防ぐ。

#44

2015/11/15：家族全員が現実主義者なので、雷に対して特に反応しない。むしろ、子どもの頃、雷が始まると、祖母や叔父が「心配しなくてよい、空が写真をとっているだけ」と言って落ち着かせてくれた。

#45

2015/11/19：雷が鳴ると母は、家の鏡、テレビ、パソコンを覆いはじめる。しかし、彼女はやらない。母に、テレビを消して、と言われたときだけ消す。雷に関する言い伝えのほとんどすべてを知らない。母に繰り返し言われたのは、雷が近づいたら、家のなかに入れ、木の下、電信柱の下には行くな、家のなかでは鏡・テレビを隠せ、ということ。彼女の母はレイテ島の漁師の娘で、天候を読むことができるらしい。子どもたちがそれをできないことを嘆いている。また、母は雷が鳴るとサンペドロがボーリングをやっている、と言っていた。

#46

2015/11/20：母方の祖母と同居。雷のとき、祖母、母は鏡、テレビを隠す。本人は従わず。母はテレビの電源を消すが、彼女は気にせず見続けるとのこと。雷のとき、祖母に口を開けるなど言われていた。また、猫と遊ぶなども。理由は猫の爪が雷を引きつけるから。雷が落ちると、顔が入れ替わる話は知らない。

#47

2015/10/26：両親がマニラに引っ越したので、祖母と暮らしていた。稲光が始まると鏡は隠すが、それは祖母を見習ってのこと（母の雷時の反応は知らない）。雷時、テレビを消し、コンセントを抜く。雷が落ちると、猫・犬と顔が入れ替わる話は知らない。落雷で木が割れたりすると、その周りに落ちている白い石を探しに行くという。これが「雷の菌」。この菌を手に入れるとすごいパワーを手に入れるらしい。小学校のとき、土砂降りになり、教室に先生がいなかったりすると、クラスの半分ぐらいは外へ飛び出して行き、遊んだとのこと。

2015/11/3：雷の菌のはなしを他の多くの講師は知らない、と言ったら驚いていた。雷時、テレビは隠さない、

巨人の石投げも知らない。ゼウスの話はほとんどの人は知らないだろう、という分析。特に年配の人は知らない。知っているのはネットゲームをやっている人。

2016/2/16：何年前か前、携帯電話を使っていた人に雷が落ちたことがあり、それ以来、祖母が携帯電話を使つてはいけないという。本人はあまり気にしていない。雷時、電源を消すのは主にテレビとカラジオとか電波を出すもの。冷蔵庫などは消さない。

2017/2/8：親の世代はまだ鏡隠しを続けていると思う。家にパソコンがないので、雷時の対応は答えられない。

2017/3/16：落雷でキノコがよく育つのは知っていた。ただし、落雷の翌日、家族がキノコを探しに行ったことはない。

2017/6/12：雷時、木から離れろ、電柱から離れろ、水から離れろ、は知っている。尖っている金属は危険という認識。母に言われたのは石突きが金属の傘を買ってはいけないということ。そのため石突きがプラスチックの折りたたみ傘しか買わない。家の外に巨大な刃物(Bolo)を置いておき、おとり(避雷針のようなもの?)にするらしい。雷がもし落ちるならばそれに落ち、自分の家に被害が及ばないようにする。タリサイ市でもボホール島でも、彼女の母は近所の人から、猫を洗うと雨が降るとよく言われたらしい。Tukoと雷の関係は知らず。

2017/8/22：家には祭壇があり、雷に限らず、台風、地震、強風など普通ではない自然災害が襲ってきたときにロウソクを灯す。

2017/12/12：雷を指ハサミで切ったことがない。赤い服に雷が落ちやすいというのは聞いたことがない。

#48

2015/10/30：祖父母と暮らしたことはない。父は雷時に鏡を隠す。彼女自身は隠さない。

2015/11/5：雷時、テレビはすぐ消す。コンセントを抜くのは本当に雷が近くなったときのみ。雷時、猫と遊ぶな、笑うな、雷の菌の話、雷は巨人の石投げなど、いづれも知らず。しかし、子どもの頃に見ていたアニメーションの影響で、稲光はアニメのキャラクターの剣だと思っていた。

2015/11/17：雷は神様が怒っているからというのは聞いたことがある。

#49

2015/10/22：彼女の祖父母は雷のとき、家のなかの鏡をすべて布で覆うらしい。雷が落ちるから。また、雷鳴の元は、巨人が石を投げているから、という言い伝えがある。

2015/11/2：雷のときは笑うな、と母に言われた。猫・犬と遊んではだめ、また雷の菌については知らず。

#50

2015/10/23：雷のときは家にある三枚の大きな鏡のうち、窓に面した一枚を布で覆う。

2015/11/1：雷のときテレビは消し、コンセントを抜く。布では覆わない。鏡よりもテレビを優先的に処理する。雷のときに母から、静かにしろ、とは言われなかつ

た。雷と猫の関連は知らず、雷の菌も知らず。雷の原因は、ゼウスが怒っているからという言い伝えがある。

2015/11/12：Thunder は「神様が怒っているしるし」というのは聞いたことがある。

2017/3/16：雷時、携帯電話を使うのは危ないと知り合いから教わり、それ以来、雷のとき電源を落としている。

2017/7/10：雷時、開けた場所は危険、電柱の下は危険、傘を使うのは危険、は知っている。水のそばは危険、木の下は危険、包丁で料理してため、は知らない。数日前に女性が雷に打たれて亡くなっただけ。

#52

2015/12/30：雷のときに鏡を隠すことは、母方の祖母からしこまれた。

#54

2015/12/18：雷のときは、家中のコンセントをぬく。それ以外はやらない。子どもの頃、母に口を開けるな、と言われたことはある。雷の菌のことも聞いたことがあるが、全く信じていない。この雷の菌のように、パワーを持つものを一般に anting anting という。

#58

2016/1/21：強い雷が鳴ったら、窓を閉め、枕を抱きしめるとのこと。鏡を覆う、口を開けるな、猫と遊ぶな、雷の菌、いずれも知らず。

2016/2/25：雷が強いときは、すべての電化製品の電源を落とし、家の主電源を切る。

2018/3/28：指で作ったハサミで稲光を切る。雷は指を差しても問題なし。

#59

2016/1/20：雷のとき、鏡を隠すのは、ボホールにいた子どもの頃にはやっていたが、今はやっていない。コンクリートの家の壁を通して、鏡に雷が落ちるとは思えない。テレビは消し、コンセントも抜く。母はテレビも布で覆うが、自分はやっていない。

2016/2/15：雷のとき、猫や犬と遊んでいけない、と言われていた。また、雷に菌があって、食べられる、という言い伝えもある。雷の原因は、神様のケンカという話も聞いた。ただ、雷のとき、笑うな・口を開けるな、と言われたことはなかった。

2017/6/2：雷の最中に猫と遊ぶのは禁忌の1つ。罰として雷が落ちる。現地の言葉で baliwon という。電柱から離れろ、傘を使うなは知っている。傘は形状というよりも、金属でできているのがよくない。ただし、猫を洗うことは禁忌ではなく、何度も洗ったことがある。包丁で料理をしてはいけない、水のそばに近づくこと、オープンスペースに立つこと、いずれも気にしていない。また雷と Tuko の関係は知らない。

#61

2016/1/23：祖母と現在も同居している。雷についての対応は祖母から教わった。食べているときに、口を開けるなと言われたことはあるが、雷のときはない。雷のとき猫と遊ぶな、という話はどこかで聞いたことはあるが、あまりはっきり記憶していない。

#62

2016/2/14：雷時、すべての電化製品は電源を切り、コンセントを抜く。ただし、プレーカーは落とさない。携帯電話は電源を切らないが、使用しない、そして遠ざける。

#64

2016/1/28：雷が鳴ったとき、鏡を隠すという習慣があるのは知っているが、自分はやらない。

2016/2/28：雷時、テレビを消すのはアンテナと繋がっているから。他の電化製品は気にならない。携帯電話も問題なし。

#65

2016/1/31：雷時、鏡を覆うことは祖母から代々伝わっている。雷が強い場合は家の主電源を落とす。

#66

2016/2/6：父方・母方どちらの祖母も、雷のとき鏡を隠していた。すべての電化製品の電源を落とす。テレビは布で覆わない。雷のとき、動物と遊ぶな、と言われたことはなかった。

2016/2/10：雷の菌の話は知らず。

#67

2016/2/3：家に雷が落ちたことがあり、電気も感じた。

2016/2/8：雷のとき、どのように反応するか、は雷の近さと大きさによる。これは近い、と思ったときは、すべての電源を抜き、主電源のフューズを切る。雷時、菌を見せるな、は母ではなく、小学校2年生のときの友達から言われた。猫と雷の関係、雷の菌の話は知らず。

#68

2016/2/5：子どもの頃、祖母に雷のとき鏡を隠すべき、と教わったが、母や自分はもはや従っていない。子どもの頃、母から雷が鳴った際、口を開けるなと言われていた。当時は守っていたが、今は気にならない。雷のとき、携帯電話やすべての電化製品の電源を落とし、コンセントを抜く。テレビには布を掛けない。

#69

2016/2/11：雷のとき、鏡を隠すのは、子どもの頃母親に教わったが、自分は守っていない。家の中の鏡が影響を及ぼすはずがない。弟は今も実践している。すべての電化製品の電源は落とす。家の主電源を切る。携帯電話の電源は切らない。子どもの頃、雷のとき口を開けるな、と言われ従っていたが、今現在は守っていない。雷時、猫と遊ぶな、は言われたことがない。雷の菌である白い石を探すことは、Darna というコミックの話とよく似ている、とのこと。

#71

2016/2/17：雷時、窓を閉め、カーテンを閉める。テレビは外のアンテナと繋がっている場合は消す。現在はケーブルテレビなので、気にせず見ている。携帯電話は外出中に雷にあったときだけ電源を落とし、家のなかにいるときは気にしない。迷信じみたことに関してはすべて No という答え。

#72

2017/2/18：母と一緒にいるときは、雷時、鏡隠し、テレビ消し等、促されるが全く信じていない。子どもの頃、口を開けるな（笑うな）、猫と遊ぶな、と言われた。猫をからかった罰として、神様が雷を落とす、という意味。

2016/2/26：外で雷が鳴ったとき、携帯電話の電源は気にしない。むしろ、子どもの頃の羨け（口を開けるな等）の方が今も尾を引いている。

#73

2017/2/20：雷時の鏡隠しは小学生のときまではやっていたが、今は気にしていない。テレビは今も覆っている。特に、光を反射するもの（鏡、テレビ）を隠すのであって、電化製品の故障を心配しているわけではない。Darnaは石を食べ、パワーを得ている、とのこと。

#74

2016/2/27：雷が鳴ると、耳をふさぎ、テーブルの下に隠れる以外はほとんど何もせず。雷について、以下のようなろいの言葉がある。Maigo unta kag kidlat (I hope you'll get hit with the lightning の意)。

#75

2016/3/10：雷時、母は鏡・テレビを隠し、金属製品を身体からはずす。彼女自身は気にしていない。ただ、彼女の友人が雷に打たれたことがある。腕に火傷を負ったが、生活に支障はない。飼っていた犬が雷に反応し、急ぎ隠れたことがあった。

#77

2016/4/6：雷時に鏡を隠す・テレビを消す・コンセントを抜く・携帯電話の電源を切るなどは、地元にいるとき母に散々仕込まれたが、自分ではやっていない。自分の世代は母親とは異なる、という意識がとても強い。

2016/4/19：母は雷時、鏡とテレビを布で覆い、電源を落とす。また自宅の主電源も切る。しかし、彼女は一切やっていない。子どもの頃、雷時、笑うな、歯を見せるなど言われたことはある。ただ、それは母からではなく、友達からである。

2017/5/31：雷について聞いたが前の答えと一部違っていた。現在は、雷が鳴ると電化製品のコンセントを抜き、毛布をかぶり寝ている。雷の時に水のそばに近づく、木の下に入るな、傘を差すなは言われたことはない。電柱から離れろと言われたことがある。

2017/6/14：雷時、料理をしてはだめ、包丁を使っただめは知らない。母からよく言われていたのは電柱のそばは危ない、木のそばは危ないである。開けた場所であっても、電柱や木がなければ気にならない。外にいるときに雷が鳴ったら何かひさしの陰に隠れるか、建物の中に急いで入る。猫を洗うことと雷の関係、Tukoと雷の関係は知らない。

2017/12/6：晴れているのに雨が降るとい現象が起ると、「天国でフィエスタをやっている」と表現をする。雷の時に赤い服を着てはいけない、は知らず。

2018/1/31：子どもの頃、指ハサミで竜巻、稲光、雲、虹など全て切った経験なし。

2018/3/2：太陽、月、虹、いずれも指差すことは問題

なし。ただし、雷を指差すのは危ない。

2018/4/27：家には祭壇があるが、雷時、ロウソクを灯さない。

#78

2016/4/7：雷のとき、鏡を隠すという習慣は知っているが、家族の誰もやらない。雷のとき、電化製品も特に気にしない。子どもの頃、母の友達の実家で、雷のとき鏡を隠すのを見たことがある。

#79

2016/4/8：雷の時、鏡を覆う、テレビを消す、携帯電話の電源を落とすなど全てやっている。ただし、猫と遊んではだめ・雷の歯は知らなかった。

2016/4/9：雷の時、笑うなどというのは知っている。

2017/5/7：雷時、水際は危険、開けた場所は危険は知っている。映画で見たような気がする。水は導電性が高いという理解。

2017/6/3：雷時、木から離れろ、電柱から離れろ、は聞いたことがある。包丁を使っていけない、猫を洗ってはいけない、Tukoには近づくな、はいずれも知らず。傘は金属でできているので、多少気にしている。昨年度、土砂降りの日、自分たちの目の前3歩のところに雷が落ちた。道路が少し黒く焦げていた。ただそれはトラウマにはなっておらず、今でも稲光を見るのは好きである。

2017/10/31：虹、暗い雲、雷、竜巻、いずれも指ハサミで切らない。

2018/1/27：雷の時には鏡を隠し、テレビなど全ての電化製品の電源を落とす。祭壇にロウソクを灯す、指ハサミで切る、キノコを探すなどはやっていない。雷時に赤い服を着るのは問題なし。太陽と雷を指差すことは問題ないが、月を指差すことには抵抗がある。

#80

2016/4/18：子どもの頃、雷の最中、テレビが壊れた経験を持つ。その事件が起こる前、テレビを消すよう、散々、母に注意されていた。

2017/5/22：雷が鳴ると鏡を布で覆い、テレビを消してコンセント抜き、毛布をかぶってじっとしている。それは今でも続いている。これらは祖母に教わった。今でも雷のことが怖い。雷の時に水辺に近づかない、包丁を使わないは知らず。雷の時に開けた場所に立ってはいけない、傘を使わない、の2つは実践している。傘の石突きは金属製なので危ないと思っている。

2017/6/9：高いものなど、雷が落ちそうなものから離れる、は知っている。むしろ何もない開けた場所にいるのが安全であり、電柱は危険であると思っている。猫洗い、Tukoと雷の関係は知らない。

2017/9/6：祭壇にはロウソクもあるが、雷の時にロウソクに火は灯さない。また黒い雲が出てきたとき、もしくは稲光を指ハサミで切ろうとしたことはない。また強い雷の翌日、山にキノコを取りに行ったりはしない。

2017/12/7：赤い服は、雷にも牛にとっても危険。何かを呼ぶ色、という位置づけ。傘は色に関わらずすべて危ない。雷が鳴っている場合はたとえ雨が降っていても傘を閉じる。そのため濡れてしまう。それぐらい傘は危

ないと思っている。雷はそもそも見たくないし、指ハサミで切ったりしない。

#81

2016/5/10：雷については、Toledoに現在もご健在の祖母に仕込まれた。雷が鳴ると歯を見せない、は未だに影響を及ぼしている。

#82

2016/5/13：雷については、何も反応しない。

#83

2016/7/30：雷について色々聞く。結構保守的で、昔言われたことを、今でも継続中。雷時、傘を差さない。

#86

2016/5/28：雷に関して、母はとてもうるさい。鏡を隠し、テレビを消し、画面を隠し、すべての電化製品の電源を落とす。

2016/7/2：母は隣の市に住んでいるが、雷時、電話をかけてくる。鏡を隠せ、テレビを覆えなどと言われるとのこと。雷時、携帯電話を外で使うのはよろしくないが、部屋のなかでは問題なし。歯を見せて笑うな、とも言われていたが、猫遊び、雷の歯は知らず。

#87

2016/7/10：雷が鳴ると、ガラスを覆う。子どもの頃、母から教わったが、現在は母あまり気にしていない。テレビを見るのは大好きだが、雷のときはテレビを消す。アンテナが繋がっているから。

2017/6/6：雷時、開けた場所に立つなは知っている。これは言い伝えではなくて科学的な根拠に基づいている。電柱や電線から離れろ、は信じている。木から離れろ、は知らない。雷の時、包丁を使ってはいけない、傘は使ってはいけない、いずれも気にしていない。そもそも雨のとき外に出るはいけないと言われる。猫と雷の関係は知らない。

2018/6/27：太陽、月、星、虹に関しては指差して問題なし。稲光を指差すと指がなくなるという言い伝えがある。

2018/7/11：虹、雨、雲、雷、竜巻など、いずれも指ハサミで切らない。

#88

2016/9/8：雷時、以前は携帯電話の電源を切っていたが、今は気にしていない。

#91

2016/7/14：雷時に笑うな、は子どもの頃に言われていたが、全く信じていなかった。

#93

2017/1/11：雷のときは、鏡を隠し、すべての電化製品の電源を切るだけでなく、ナイフ等、家のなかの尖ったものを隠すという。傘の石突きはテープでぐるぐる巻きにして丸める。

2017/5/19：母から、雷の時はなるべくかがみ、低い体勢をとりなさいと教わった。池など水のそばが危ないとは言われたことがない。尖っているものは危ないので、傘にはマスキングテープを貼っている。また包丁も危ないので、雷の時は料理しない。

#94

2016/8/7：高校生ぐらいのとき、彼女一人で家にいる際、雷が家に落ちた。テレビが壊れ、配電盤が壊れた。青色の電気？が家のなかを飛び交うのが見えた。

#95

2016/10/4：母から雷のとき、鏡を隠せ、テレビを消せときつく教わっていたが、現在はやっていない。とくに、テレビはケーブルテレビであり、外のアンテナに繋がっていないので大丈夫と思う。

#96

2016/9/13：雷時、テレビを消して、鏡を隠す。それ以外は何もやっていない。

#97

2016/10/3：雷のとき傘を差さず。

2018/4/12：太陽、月、稲光は指を差しても問題ない。指ハサミで切ったことがあるのは雨粒のみ。そうすることで雨を止める。それ以外の虹、雲、雷、竜巻は切ったことがない。雲が出てきたときに、箒で雲を追い払ったことがある。雷の時に母は鏡を覆う。もちろんこれは祖母から伝わったものであり、それが彼女の世代まで繋がっている。そもそも母は夜、全ての鏡を布で覆ってから寝る。これは雷が鳴っていなくても。雷時、木の下に隠れてはいけないと言われていた。木は高いので落雷しやすいから。家の中であれば包丁を使うのは問題なし。ただし外で金属製品を使うのはよろしくない。傘を使うのもよくない。友達の両親は雷に撃たれて亡くなった。いとこの1人は鎌を持ち歩いてたとき雷に打たれたが健在。

#98

2016/9/23：母から雷時、鏡を隠す、テレビを消す、携帯電話の電源を落とす、というようなことを言われていたが、現在はやっていない。

2016/9/30：雷時、猫遊びはいけない、雷の歯は知らず。

#100

2016/11/27：父に雷時、鏡を見るなど言われた。ただ、鏡は隠さないらしい。雷時、猫に触るな、ときつく父に言われた。理由は雷が落ちるから。

2017/5/28：その付近で一番高いものに雷は落ちる。猫を洗うと雷が落ちる。雷に打たれる人は近親相姦という言い伝えがある。神の怒りに触れたという考え方。

#101

2016/10/30：雷時、携帯電話の使用は気にしないが、充電していたら、コンセントから外す。

#102

2016/12/24：雷時、パソコンは電源を落とし、コンセントから抜く。

#103

2016/11/15：雷時、笑うな（口を開けるな）は知らず。現地語で、Dogdogはthunder、lipak/kilatはlightning。

#106

2016/11/17：現在、叔母と暮らす、その影響で雷時、鏡を隠す。ただし、一人ぐらしをすれば、やらないだろうとのこと。

2016/11/22：雷については、祖母に仕込まれた。テレビは電源を消し、アンテナケーブルを外す。携帯電話を充電していたら、それも外す。雷の歯のはなし、猫を洗うと雷が落ちる、いずれも知っている。

2017/5/23：雷の時、開けた場所に立ってはいけな、金属が露出した傘を差すなは知っている。ただ水は気にしない。猫を洗うと雷が落ち、洗っていた人が石に変わってしまう。

2017/6/26：雷の時、木の下、開けた場所、電柱の下は危険、ということは祖母から聞いたし、また学校でも習った気がする。包丁を使ってはだめ、は知らず。Tukoと雷の関係は知らず。

2017/10/10：祖母が健在の時は、雷が鳴るとロウソクに火をつけ、お祈りしていた。指ハサミで切るのは虹だけ。雷、黒くて暗い雲、竜巻等、いずれも指ハサミで切らない。雷の次の日にキノコを取りに行くのはとても有名な話。

2018/4/2：太陽、月、雷は指差しても問題なし。指差していけないのは虹。雷の時に赤い服を着るのは問題なし。

#108

2016/12/5：実家では雷時、鏡を隠していた。現在は小さな鏡しかないため、気にしていない。雷時、傘を差してはいけない、と言われていた。

#110

2016/12/8：雷については、全く何もやっていない。

#111

2016/12/3：雷時、鏡を隠すことは、子どもの頃に祖母がやるのを見ていたが、自分は従っていない。雷時に笑うな、は家族から言われたことはないが、そういう習慣があるのは知っている。

#112

2016/12/7：雷時、動物と遊んではいけないのは、動物が雷で驚いてパニックになり、人に危害を加えるから、という理解。

#116

2017/1/8：雷時、鏡を隠すことは現在も継続中。携帯電話は電源を落とすだけでなく、自分から遠ざけている。しかし、雷時に笑うな、猫と遊ぶな、は言われた経験なし。雷が鳴り大雨が降った翌朝、白い石を探すのではなく、父はキノコを探しにいくという。彼は料理が上手でそれが昼食時、食卓にならぶ。とてもうまいらしい。

#117

2016/12/27：雷時、鏡、テレビのみならず、自分自身も毛布で覆う、とのこと。

#119

2016/12/30：雷時の行動は、両親がいるときと、自分一人のときでは全く異なる。両親がいるときは、鏡を覆う、テレビ消す、コンセント抜く、テレビをタオルで覆う。しかし、一人のときはどれもやらない。子どもの頃、歯を見せるな、笑うな、と言われていた。

#120

2017/5/6：雷の時に、テレビを消しコンセントを抜く、

テレビの画面にタオルをかける。携帯電話は気にしない。雷時、笑うな、猫と遊ぶなと言われたことはない。雷の歯は映画で見たことがある。雷時、開けた場所に立つな、水(池や湖など)のそばにいるな、と言われたことがある。

2017/5/20：雷のとき、包丁を使ってだめ、は聞いたことがない。開けたところで傘を使っではいけない、は友人から教わった。傘の金属製の石突きをビニルテープで隠すという習慣は知っている。

#121

2017/1/3：雷時、田舎では鏡を隠すが、彼女はやっていない。母にテレビを消せ、Wi-Fiをオフにしろ、と言われるがほとんどやらない。雷時、歯を見せるなは知っている。理由はわからず。落雷で猫と顔が入れ替わることは知らず。

2017/2/9：雷時、テレビのコンセントは抜かず、また画面をタオルで覆わない。雷が本当に強いときは、携帯電話を使わず、身体から離して置く。子どもの頃、雷が鳴ったら笑うなと言われたことはない(以前の回答と矛盾)。

2017/7/6：雷時、木の下は危ない、電線は危ないは知っている。これは迷信ではなく科学である。包丁を使っではいけないは知らず。猫を洗うことと雷の関係、Tukoと雷の関係は知らず。雷のとき、開けた場所にいることは危ない。開けた場所で傘を差していた人に雷が落ちた例を知っている。雷に関するキャラクターとして、ボルトスファイブはフィリピンでとても有名。

2017/9/5：家には祭壇があるが、雷の時にロウソクに火を灯さない。子どもの頃、とても黒い雲が出てきたり、稲光が発生したときに、それを指ハサミで切った経験はない。また雷の時に池から離れる、湖から離れる、というような注意を受けたこともない。

2017/12/4：太陽、月、雷を指差しても問題なし。雷が鳴ったときに鏡を隠すのは母の世代のみ。彼女はやっていない。雷時、赤い服を着てはいけないは聞いたことがない。傘は色にかかわらず差さないほうがいい。雷の次の日にキノコを探しに行ったことがない。

#122

2017/1/7：祖母に雷については仕込まれた。テレビの電源を切る、コンセントを抜く、布をかける、鏡・金属に布をかける等々。鏡を隠すは現在はやっていないが、テレビの電源を切る、コンセントを抜く、アンテナケーブルを抜くは続けている。雷時、笑うな、ペットと遊ぶな、とは言われたことがないが、雷後の雨上がり、白い石(雷の歯)を探して歩いていった。実際に何個も見つけて捨てていた。

2017/4/1：母方の祖母と同居の経験あり。そのときいろいろと教わった。雷時、鏡を隠すのは、祖母の世代まで。母はやっていない。ただテレビの電源を落とす、コンセントを抜くは続けている。

2017/6/4：母と弟は雷の時、鏡を隠す。しかし彼女は隠さない。雷の時、木の下に隠れてはいけない、傘を差してはいけないは知っている。傘は石突きが金属製だから危ない。雷が鳴った場合、開けた場所で伏せる、は聞いたことがある。猫洗いと雷の関係、Tukoと雷の関係、

雷時、包丁を使っではいけないは知らず。

2018/1/28：太陽、月、雷、虹等を指差すのは問題なし。

2018/4/28：雷の翌日に小さい石を探して歩く。雷の時、木のそば、木の下に隠れてはいけない、と教えられた。石突きがあるから傘を使うのもよろしくない。そのため雷が鳴っているときには、傘ではなく、レインコートを着る。家の中で包丁を使って料理するのは問題なし。家に祭壇があるが、雷の時にロウソクを灯したりはしない。

#123

2017/1/9：雷時、鏡隠しは知ってはいるが、鏡が窓から離れているので、気にしていない。冷蔵庫以外の電化製品は電源を切り、コンセントも抜く。

2017/1/29：雷時、携帯電話は気にしない。

#124

2017/1/9：雷に対する所作はボホール島出身の父に習った。雷時、鏡隠し、テレビ消しコンセント抜く、テレビの画面を布で覆う、いずれも継続中。テレビはアンテナで外と繋がっているから危険。大雨の次の日にテレビが壊れた経験があり。父は雷が落ちたせいだと思っている。昔、携帯電話はなかったので、それに関する言い伝えはない。雷時、猫遊び・犬遊び禁止、雷の菌、キノコと雷の関係、いずれも知らず。

2017/7/5：雷時、木の下、電柱の下、開けた場所が危ないは知っている。水のそばは危ないを知らず。実際、幼なじみが開けた場所に立っている時、1m先に雷が落ちたらしい。台所が窓のそばにあるときは、雷の時、包丁を使っではいけない。傘の使用は気にしていない。そもそも雷のとき外には出ない。Tukoと雷の関係は知らず。

2017/10/5：家には大きな祭壇があり、雷の時、祖母はロウソクに火をともし、お祈りをする。雷、暗い雲、竜巻、いずれも指ハサミで切ったことはない。雷のとき、笑っではいけない、と父に散々言われた。また、現在でも携帯電話の電源を落とす。

2018/1/25：雷時、赤い服を着るのは問題なし。太陽、月、雷を指差すことは問題なし。指ハサミで、黒くて暗い雲は切るということは知っている。雷は切らない。

#125

2017/1/13：雷時、鏡を布で覆うのではなく、鏡を外し、伏せて床に置く。これは、実家を離れ、セブで一人暮らしをしても続けている。

2017/1/16：雷時、すべての電化製品の電源を落とし、コンセントを抜く。父に仕込まれた。雷時、笑うな、ベットと遊ぶな、雷の菌探し、キノコ探しは知らず。

2017/5/26：雷時、開けた場所に立っではいけない、水のそばに立っではいけない、包丁で料理を仕っではいけない、傘を差さない、いずれも知らず。雷の時に、電柱や木のそばに立っではいけないと言われた。また、雷時、Tukoに近づいてはいけないと言われた。Tukoは普段木に住んでいるが、それが雷を呼ぶ。

2017/9/15：実家には祭壇があるが、雷時、祭壇のロウソクはつけない。暗い黒い雲が出てきたときには指ハサミで切ったことがある。子どもの頃、友達に教わった。そうすることで、暗い雲に続く雨を防げると思っていた。

同様の仕草を、稲光、竜巻にやったことはない。

2018/5/10：太陽、月、星、雷は、指差しても問題ない。虹、雨、雷等、指ハサミで切ったことはない。

#126

2017/1/20：雷に対する反応は両親にきつく仕込まれた。両親と一緒にいるときは、鏡を隠し、テレビを消し、コンセントを抜き、タオルをかけ、携帯電話の電源を切る。また、雷が鳴ったら、静かにしろ、と散々言われてきた。静かにしなければ、稲光はあなたに噛み付くだろうと。雷の翌日、白い石を探しには行かなかった。雷時、猫・犬と遊んではだめ、キノコ探しは知らず。

2017/2/12：雷のとき、ラップトップは気にしない。

2017/5/25：雷時、傘を使っではいけないは知っている。石突きが雷を呼ぶから。父のいとこは、米を買いに行った時に雷に打たれて亡くなった。その時差していた傘に落雷したとのこと。雷時、開けた場所に立つな、水のそばに立つな、包丁で料理を仕っではいけない、猫を洗っではいけない、は知らず。

2017/7/7：雷時、木から離れろ、Tukoと雷の関係はいずれも知らない。電柱からは離れた方がよい。これは科学的理解に基づいている。

2017/8/27：雷時、祭壇のロウソクは灯さない。

2017/12/15：太陽、月、稲光を指差すことは全く問題ない。雷時、赤い服を着ることは問題ない。子どもの頃、稲光や竜巻を指ハサミで切ったことはない。

#127

2017/1/21：雷時、鏡・テレビを隠す。テレビはコンセントも抜く。雷に打たれて猫と顔が入れ替わるのは、子ども向けのテレビの影響。

2017/3/4：雷のとき、また嵐のときも、すべての電化製品のコンセントを抜くことを母に習った。雷時、携帯電話は片付ける。

2018/2/11：雲、雷、竜巻、虹を指ハサミで切ったことがない。

#128

2017/1/28：雷時、鏡を隠すが、それより気にするのはテレビ。電源を落とし、コンセントを抜く。携帯電話は電源を切らず、毛布のなかに入れてしまう。

#129

2017/2/4：雷時、鏡は気にしない。テレビの電源を落とし、コンセントを抜く。携帯電話、ラップトップの電源を切る。子どもの頃、雷時に笑うな、と言われていた。

2017/5/15：雷時、水辺に立つな、は言われたことがある。開けた場所に立っではいけない、は知らず

2017/7/23：雷時、母は鏡を隠さない。木から離れろ、包丁を使っではいけない、傘を使っではいけない、は聞いたことがない。家の中なので包丁を使うことに抵抗はない。また傘もプラスチックで覆われているので心配ない。

2017/8/6：親は本当に雷が近いときのみ、窓ガラスに面している鏡のみ隠す。猫を洗うことと雷の関係、雷とTukoの関係は知らず。

2017/8/30：雷の翌日、白い石を探したことはある。キノコを探したことはない。雷が鳴った時に祭壇のロウ



ソクを灯さない。

#130

2017/2/5：雷時、鏡は気にしない。テレビはすぐ消し、コンセントを抜く。携帯電話は基本的に電源を落とし、身から遠ざけるが、テキストメールを打ちたいときは続ける。しかし、母に見つかると叱られる。雷時、笑うな・口を開けるな、ペットと遊ぶな、は言われた経験なし。

2017/2/11：雷時、鏡を隠すことは母もやっていない。雷の歯は知らない。

#131

2017/2/23：雷時、鏡は隠す。母に徹底的に仕込まれ、現在も継続している。また、テレビを消し、冷蔵庫以外のすべての電化製品のコンセントを抜く。携帯電話など、充電しているものもすべて外す。2才ぐらいのときに、雷でテレビが壊れたことがある。雷時、笑うな、猫と遊ぶな、雷の歯、いずれも言われたことはなし。

2017/3/3：雷時、テレビを布で覆う。また、雷が激しいとき、携帯電話でテキストを送ることを躊躇する。母に雷についていくつか質問してくれたとのこと。結果、母は、自分が子どもの頃、雷のとき、笑うな、動物に触れるな、と言われていたが、娘には言わなかったらしい。家にペットもいなかった。

2017/7/3：昨日まさに雷が鳴って母が鏡を隠した。また、妹にも鏡を覆うように指導していた。

2017/7/24：雷について学校の先生や母から聞いたのは以下の通りである。開けた場所・木の下・電柱の下にはいけない、傘を使ってはいけない（特に金属の石突きのもの）。しかし、料理をしてはいけない（包丁を使ってはいけない）、猫を洗ったり、Tukoに近づくとき雷が起る、は知らず。

2017/11/29：虹、雷、雲、竜巻などは指ハサミで切ったことがない。

2017/12/11：虹、雷、雲、竜巻、いずれも指ハサミで切ったことがない。

2018/1/22：雷について聞く。雷のとき鏡を隠すのは祖母、母、彼女と、代々伝えられている。雷を指差してだめとは言われてない。雷時に赤い服を着てもよい。家に祭壇があるが、雷の時にロウソクは灯さず。

#132

2017/3/2：雷時、家のなかの家電はすべてコンセントを抜く。鏡・テレビは布で覆う。ガラスが心配らしい。外出中、雷が鳴ったら携帯電話は使わないようにする。だって、表面にガラスがあるじゃない、とのこと。雷時、笑うな・猫と遊ぶな、雷歯は知らず。

2017/6/3：雷時、電柱と電線に近づくことは恐れている。奥さんの近所の人が電線に落ちた雷で亡くなった。その奥さんも怪我をした。木の下への避難、包丁・傘の使用、いずれも気にせず。

2017/6/29：雷時、水辺に近づくのは危険、は聞いたことがない。

2017/10/3：家に祭壇はあるが、雷が鳴った時にロウソクに火を灯さない。

2018/2/6：太陽、月、雷は指差しても問題ない。雷が

近づいた時、母は鏡を隠すが、祖母がそうしてたかどうかは見たことはない。雷が近づいた際、赤い服を着るのは問題なし。また稲光を指ハサミで切ったことはない。

#133

2017/3/2：雷時、鏡隠し、テレビ消し・コンセント抜き・画面隠しすべて継続している。雷時、笑うな・猫と遊ぶなは言われたことはない。雷の翌日、白い石を探すのは知っていたが、それが雷の歯、ということは知らなかった。

2017/7/18：雷時、開けた場所・木の下・電柱の下は危ない、は知っている。池の周りは危ない、包丁を使ってだめ、傘を使ってだめ、犬を洗ってはだめなどは知らない。

2017/7/26：Tukoと雷の関係は知らない。

2018/1/16：雷の時に赤い服を着たり、赤い傘を使うことは問題ない。ただ石突きが金属製の傘を使うのは怖い。稲光や黒くて暗い雲を指ハサミで切ったことはない。家に祭壇はあるが、雷が鳴ってもロウソクを灯さない。雷の翌日にキノコを探すことは、家族も自分もやらない。

2018/4/18：太陽、月、星、稲光を指差すことは問題なし。

#134

2017/3/4：セブ市のなかでも標高の高いところに住んでいる。雷が落ち、よく停電になる。家族から、雷が鳴ったとき、笑うな（歯を見せるな）と言われていた。歯に雷が落ちるから。祖母から猫と遊んではいけないと言われていた。もし雷が落ちると頭が60度回転してしまう。今も雷が鳴ると猫から離れる。

2017/8/24：雷の歯は聞いたことがない。猫洗いと雷の関係も知らず。現在では、雷のとき鏡を隠すことはやっていない。携帯電話に雷が落ちた話を聞いたので、雷時、携帯電話は使わない。

#135

2017/3/5：雷時、鏡は隠さない。電化製品はすべて電源を落とす。テレビ、Wi-Fiなどはコンセントを抜く。ただし、テレビに布はかけない。子どもの頃、雷が鳴ると、歯を見せるな（笑うな）と言われた。歯に雷が落ちるから。雷時、猫と遊ぶなは知らず。

2017/5/13：雷時、水辺の近くに立つなと言われたことはない。開けた場所に立つなは知っている。雷の歯の話は知らず。

2017/6/5：雷時、木から離れろ、電柱から離れろ、は常識。包丁を使わないは知らない。雷の時、外に出ないので傘を使わない。猫洗い・Tukoと雷の関係は知らない。

2017/7/1：子どもの時に身に付けた習慣は現在も残っている。雷の時についつい口をつぐんでしまう。雷時、携帯電話・ラップトップの使用は気にしない。

2017/7/9：雷時、携帯電話やラップトップの電源は消さない。気にしない。雷の翌日、キノコを探す話は知らない。

2017/9/9：家に祭壇はない。雷時にロウソクを灯さない。

#136

2017/3/7：雷のとき、ドアと窓を閉めるが、鏡は隠さない。テレビを消すだけ。コンセントは抜かず。笑うな（歯

をみせるな）は、母親ではなく、祖父母に言われたことがある。

2017/6/15：雷時、鏡を隠すは知っているが、もはややっていない。木の下・水のそばにはいけないは知らず。また、雷時に猫と遊ぶな、猫にシャワーを浴びせると雷が起こる、も知らない。石突きがプラスチックなので、雷の時も傘は使っている。雷の時、料理をしてはいけない、は知らず。

2018/1/3：太陽、月、稲光を指差すのは問題ない。

#137

2017/3/8：雷については、Sibonga 在住の祖母に仕込まれた。雷時、歯を見せるな、鏡を隠せ、と言われ続けた。すべての電化製品の電源を切り、コンセントを抜く。テレビにも布をかける。子どもの頃、ベットの隅がなかったためか、犬と遊ぶな、と言われたことはない。また、雷の翌日に白い石を探したこともない。

2017/5/21：雷時、開けた場所や水辺にはいけない、包丁を使ってはいけない、は聞いたことがある。ただ包丁を使ってはいけない理由が他の人と異なっている。雷の時に人は精神的におかしくなるので、刃物を持つのが非常に危険だから。傘を差してはいけないは知らない。

#139

2017/4/7：雷時、鏡隠しは、昔、Leyte 島に住んでいたときはやっていたが、現在は、親も自分もやっていない。子どもの頃から言われていた、手のひらで口を隠すは現在も続けている。理由は歯が雷を呼ぶから。テレビの電源は消す。時々、コンセントも抜く。ただし、テレビの画面は布で覆わない。携帯電話は気にせず。猫遊び、雷の歯拾いは知らず。

#140

2017/4/17：雷については、祖母・父にいろいろ教わった。傘の石突きが金属製の場合はテープでぐるぐる巻きにして使った。現在使用中の傘は金属製ではないので安心。雷時、鏡隠す、テレビを消す、コンセントを抜くが、タオルは掛けない。雷時、笑うなと祖母に言われた。犬と遊んではいけないとは言われなかった。雷の歯は知らず。

2017/6/13：雷時、木の下・電柱の下は危険、は知っている。雷時に料理をするとき、包丁は危険。また父方の祖母の同居中、雷時に食事をとるとき、ナイフ、フォーク、スプーンなどの金属は使わず、手で食事をしていた。祖母が亡くなったあとは、それには従っていない。傘は石突きが金属の場合は、父がテープでぐるぐる巻きにしてから使った。現在は石づきがプラスチックで覆われているものがほとんどなのでやっていない。開けた場所は危ないは知っている。水の下・そばに近寄るな、猫を洗うと雷が落ちる、は聞いたことがない。

2017/8/23：雷の翌日にキノコを探しに行ったことはない。明らかに強烈な嵐が来るような天候になった時に、母が祭壇にロウソクを灯す。

#141

2017/4/23：雷について、母からの教えをほとんど現在も続けている。雷時、傘を使わない。金属の石突きがあるから。雷の翌日のキノコを探しに行く話は知っている。雷時、歯を見せるな、笑うなと散々言われた。今後、母と離れて一人暮らしをしてからも、継続するかどうか不明。

あるから。雷の翌日のキノコを探しに行く話は知っている。雷時、歯を見せるな、笑うなと散々言われた。今後、母と離れて一人暮らしをしてからも、継続するかどうか不明。

#142

2017/6/11：祖母は雷が鳴ると鏡を覆っていた。雷時、テレビ、携帯電話やその他電化製品の電源を落とし、コンセントを抜く。雷の時笑うな、は言われたことはない。開けた場所に立つな、木から離れろは知っている。雨のとき、あまり傘をつかわない。むしろレインコートの方が好き。

#143

2017/7/17：雷については母方の祖母からいろいろ教わった。鏡を隠す、テレビを消す、テレビを覆うなど。今も継続しているのはテレビを消すのみ。雷の時笑うな、は言われていたかもしれない。ただ、いつも祖母はからかって、雷は神様が写真を撮っているんだと言って、にこっと笑っていた。雷に打たれると石になるとも言っていた。

#144

2017/7/19：ミンダナオ島の Butuan 出身。雷時、窓を閉める、鏡を覆うは継続している。本当に雷が強い時は、家の主電源を落とす。特にアンテナと繋がっているもの。携帯電話は気にしない。コンクリートできた家のなかに居れば、安心感がある。子どもの頃、歯を見せるな・笑うなは言われたことはない。雷時、猫や犬と遊ぶな、包丁を使ってはいけないも知らない。

#145

2017/8/5：雷時、テレビを消す、コンセントを抜く、全ての電化製品の電源を切るよう、祖母から散々言われていた。しかし地元を離れ、姉と2人暮らしをしてからは全くやっていない。鏡を隠す、テレビ関連、タブレット全て気にしていない。ただ、幼稚園の頃、土砂降りの日、兄とテレビを見ているときに、画面が真っ白になって消え、壊れてしまった経験あり。子どもの頃、雷時、笑うなと言われたことはない。雷が鳴っているときに、水に触ってはいけない（手を洗うなど）、はきつく言われており、それは今でも守っている。

2017/8/12：雷時、開けた場所・水の下・木の下・電柱のそばは危険、包丁を使ってはダメ、いずれも知らず。傘は金属の石突きがある場合は危険かもしれない。猫洗い、Tuko と雷の関係は知らない。

2017/8/19：雷時、石が白くなると言うのは、子どもの頃テレビの番組で見たことがある。自分も白い石を探したことはあるが見つけられなかった。

#146

2017/11/7：実家には祭壇がある。雷のとき、祭壇のロウソクはつけない。雷が鳴った時はただ両手で耳を覆う。雷が鳴った時は鏡を隠す。これは母から厳しく言われた。テレビを消して、コンセントを抜き、布で覆う。携帯電話は気にしない。子どもの頃に雷時に口を開けるなと言われたことはない。雷の時、猫に触ってはいけない、は母から言われていた。理由はわからない。

2017/11/17：雷の翌日に白い石、キノコを探しに行ったことはない。雷の時に傘を使ってはだめ、は知らず。ただし赤色の傘は絶対に使わなかった。傘に限らず服も赤はいけない。雷を呼ぶから。雷の時に刃物を使って料理をしていけない、は知らない。

2017/12/7：雷は怖いので見てられない。そのため、指差したり、指ハサミで切ったりしたことはない。黒く暗い雲、竜巻、雷、いずれも指ハサミで切ったことはない。

2018/4/24：雷の時、彼女自身も今でも鏡を隠す。雷のとき、木の下に隠れてはいけないと教わったことはない。母に言われたのは、雷時、赤い服を着てはいけないということ。高校の先生に言われたのは、もし友達が雷に打られたとしても助けてはいけない、ということ。触るとあなた自身も感電するから。

#147

2017/10/30：雷時、室内の鏡を隠す。金属よりガラスが気になる。鏡を隠すのは祖母、母、本人。また、テレビの電源を落とし、テレビにタオルなどをかける。コンセントは抜かない。

#149

2018/3/11：セブの中でも少し高いところに住んでいる。Lightning よりも Thunder の方が怖い。雷時、鏡を隠すのは祖父母の世代。母はもはや従っていない。彼女も同様。以前、テレビの電源を落としていた。子どもの頃、笑うな、歯を見せるな、猫と遊んではいけない、と言われたことはない。木の下はむしろ安心と考えている。木が避雷針の役割をしているという理解。雷と赤い服の関係は知らない。

#150

2017/11/2：指ハサミで虹、雷などは切らない。実家の母は雷が鳴ると、大きな鏡を隠してしまう。セブの部屋には鏡がない。雷時、テレビの電源を消し、コンセントを抜く。またすべての電化製品（携帯電話も含む）も電源を落とし、コンセントを抜く。携帯電話から距離を置く。私はまだ fried されたくないから、という冗談を言っていた。テレビは布で覆わない。

#152

2017/12/23：虹、太陽、月、雷などは指を差しても問題ない。

2018/2/4：雷についての印象は悪くない。雷は天国で神様が祝宴 (feast) をしているという理解。雷時、その周辺で最も高いところが危ない。祖母の世代は、雷が鳴ると鏡を隠していた。母も彼女も子どもの頃はやっていたが今はやっていない。テレビは消し、コンセントも抜く。テレビに布をかぶせる、は現在はやっていない。携帯電話の電源を切る。子どもの頃に笑うな (歯を見せるな) と言われたことはない。しかし猫と遊ぶな、は言われていた。理由は知らず。雷の次の日に白い石・キノコを探したことはない。

2018/3/10：雷時、木の下や木のそばに隠れるのは危険。雷はその周辺で最も高いところに落ちるから。雷の時に包丁を使ってはだめ、は知らず。雷時、傘を差すことにそれほど抵抗はない。ただ石突きがやや心配。黒く

て暗い雲、雷、竜巻、虹、いずれも指ハサミで切ったことはない。

2018/4/22：赤い服を着ていけないのはお葬式の時のみ。雷の時は問題なし。

#156

2017/12/19：小学校の頃祖母と同居。祖母は雷が鳴るとすべての電化製品の電源を切り、また歯を見せるなども言っていた。ただし親の世代以降、彼女も含め、電化製品の電源をそれほど気にしなくなった。

2018/1/19：太陽、月、雷、虹、いずれも指を差しても問題なし。雷については、祖母は非常に気をつけていた。祖母は鏡を隠し、テレビを切るだけでなく、全ての電気を消してロウソクをつけていた。また笑ってはいけない、歯を見せてはいけないと言っていた。ただ、猫と遊んではだめ、雷の次の日に白い石やキノコを探すなどは知らない。

2018/2/9：虹、暗い黒い雲、雷、竜巻はいずれも指ハサミで切ったことがない。雷については父方の祖母からいろいろ仕込まれた。祖母は家の電化製品を全て消し、家の主電源も落としていた。テレビも布で隠していた。しかしこれらはすべて祖母のみ。彼女はやっていない。ただ雷時、なるべく外に出ないようにしている。雷時、料理をしてはいけない、傘を使ってはいけない、赤い服を着てはいけない、犬を洗ってはいけない等は全て知らず。雨の日や雷時、猫に近づくな、と祖母に言われていた。

#159

2017/12/24：雷時、鏡は隠さず、窓を閉める。高校の時に友達から、雷のとき笑ってはだめ、歯を見せてはだめと言われた。歯は白く雷からみると attractive だから。家にいるとき、雷が鳴るとテレビを消し、コンセントを抜く。猫と遊んでだめは知らず。雷に頭のつむじを見せるといけないという話がある。

2018/3/18：雷時、祖母と両親は鏡を隠す。またテレビも含めすべての電源を落とし、コンセントを抜く。雷のとき、布でテレビを覆わない。雷の時に笑ってはいけない、は高校の友人から言われていた。

2018/5/20：雷の翌日、白い小石を探しに行ったことはない。雷のとき、木の下に隠れては危険、は知っている。木だけではなくて、街灯など高いものは全て。雷時、包丁を使ってはだめ、傘を使ってはだめ、は知らない。家に祭壇があるが、雷の時にロウソクを灯さない。赤い服も問題なし。指ハサミで、雨粒、暗く黒い雲、雷、竜巻、虹など切ったことはない。

#161

2018/3/29：太陽、月、雷、虹はいずれも指差して問題なし。虹、雲、雷、竜巻などは指ハサミで切ったことはない。雷時に鏡を隠すことは、母は継続している。彼女も子どもの頃やっていたが今はやめた。テレビを消す、コンセントを抜く、Wi-Fi のルーターの電源を切る、は今も継続中。テレビは布で覆わない。携帯電話を使うのは問題なし。子どもの頃、雷時に、笑ってはいけない、動物と遊んではいけないと言われたことはない。雷は神様が怒っている (Ang Ginoo kay nasuko) という理解。

木の下に隠れてはいけなと言われていた。また雷のとき、傘は使わない。石突きがあるから。

#163

2018/3/17:月と雷は指差して問題なし。また、虹、雲、雷、竜巻、いずれも指ハサミで切ったことはない。

2018/3/21:雷時、鏡を隠す。現在も継続中。もちろん祖母・両親もやっている。テレビは電源を落とし、コンセントを抜き、かつ布で覆う。携帯電話を使うのは非常に危ないと思っている。雷時、携帯電話を含め、全ての電化製品の電源を落とす。また子どもの頃には笑うな（歯を見せるな）と言われており、次の日に白い石を探しにも行った。これは *ngipon sa kilat* という (*ngipon* は「歯」、*sa* は「の」、*kilat* は「雷」の意)。しかし白い石を見つけたことはない。猫と遊んではいけない、は知ってはいるが、実際に猫を飼っていなかったので経験はない。木の下に隠れるのは危険、は母から習った。また料理をしてはだめ、傘を使ってはだめも知っている。料理だけではなく、スプーンやフォークも使ってだめと言われた。金属だから。しかし赤い服を着ることは問題なし。

#166

2018/3/13:太陽、月、雷は指差して問題なし。雷の時に祖母は鏡やテレビを布で覆う。母はキリスト教に深く帰依しており、迷信を気にしていない。彼女も同様である。

2018/5/7:指ハサミで虹、雨、雲、雷、竜巻を切ったことはない。雷についてはトラウマがある。彼女と同じバランガイに住んでいた人が雷に打たれて亡くなった。その人は木のそばに立っていた。母は雷が鳴った際、傘

を使ってはだめと言っていた。母は全ての電化製品の電源を消し、コンセント抜く。

2018/6/7:雷の時に笑ってはだめ、猫と遊んではだめ、木の下に隠れてはだめ、携帯電話を使ってはだめ、これらいずれも知らず。気にしていない。小学校の先生に言われたのは、開けた場所は危ない、傘を使うことは危ない、開けた場所へ行く際は傘を使うのである。

#169

2018/5/1:太陽、月、星、雷は指差してよい。雷に関し、子どもの時に母に注意されたのは、笑ってはいけな、歯を見せてはいけなと言ったことである。雷が落ちるから。

#170

2018/5/27:雷が鳴ると鏡を隠す。これは祖母は継続しているが、母は従っていない。しかし彼女はおばあちゃん子なので続けている。

2018/6/20

太陽、月、星、雷、虹、これらを全て指差すのは問題ない。雷で思い出すのは、子どもの頃に歯を見せてはいけなと言われたこと。

2018/8/6:雨粒、暗くて黒い雲、雷、竜巻は指ハサミで切らず。

#171

2018/8/13:太陽、月、星、雷は指差して問題ない。雷で思い出すのは笑ってはいけな（歯を見せてはいけな）と子どもの頃に注意されていたこと。これは現在は従っていない。雨粒、雲、雷、竜巻など指ハサミで切ったことはない。